

朗読・群読の教育的効果～認め合い～

朗読・群読において互いのよさを認め合う姿が見られたか

《生徒の自己評価カードから》

【『徒然草』の学習において】

- 他の人は、けっこううまく読んでいたので私もそれを見習いたい。
- 自分以外の人の読み方を聞いて、自分との違いがわかったのでよかった。
- 班の人の発表や代表の発表を聞いて、個人ごとに特徴が出ていておもしろかった。
- グループでやってみて、みんながどのように工夫しているかが見られてよかった。
- いろいろな人の発表を聞いて「こういう読み方もあるのかあ」と思った。
- みんなの発表を聞いて、よいところを吸収することができたのでよかった。
- とてもうまい人の朗読が聞けて、とても参考になった。
- 友達の朗読を聞いて、声の調子、強弱などのつけ方がわかった。
- 班ごとだったので、みんなが工夫している点などいろいろ参考になった。
- 他の人の朗読プランを見て、比べて、自分のプランがどうなのかがわかった。
- 他の人がどんなふうな工夫をしたのかがわかり、「ああこういうやり方、読み方もあるんだなあ」ということを発見した。

【『枕草子』の学習において】

- 班で協力すると楽しいし、「ああなるほど」というような意見もあるのでよいと思った。
- 他の班もうまく発表していた。私たちの班とちがって男女いっしょのところもあったので、私たちもそうすればよかったと思った。
- 他のグループの人たちも群読のやり方を工夫して、声の大きさもちょうどよかった。みんなの発表を聞いてよかった。
- 他のグループのよいところをまねしたり聞き取ったりすることができたのでよかった。

【『平家物語』の学習において】

- 与一や義盛など、一人で読んだ人がとても上手で、その状況が目には浮かんでくるような感じがした。
- みんな自分の役になりきっていて楽しかった。
- 一人一人がしっかり声を出していて、とてもよい群読ができたと思う。
- みんな声があっていたし、上手にできたのでよかったと思う。
- みんなとても大きい声を出して群読をやっていてよいと思った。
- いろんな読み方をする人（うまい人）がいて、聞いていておもしろかった。読み方についても勉強になった。
- 個人で読んだ人は、それぞれの個性が出て、源氏、平家は力強く読めてすごくよかったと思う。
- 思ってもみななかったみんなのよさがそれぞれ出ていて、とてもすばらしいものだ感激した。
- とても上手な人がいたので、びっくりした。
- 語り手や与一などの役をやっている人の読み方が参考になった。また、やってみたいと思う。
- 自分で群読台本をつくって、読んでみて、自分の表現の仕方とみんなの表現の仕方がそれぞれ違って勉強になった。
- みんなが一つにならないと、ここまでのものは出来上がらなかったと思う。

【「漢詩」の学習において】

- 群読といっても他の班と聞き比べて思ったことは、どこをどう読むかですごく違ってることがわかった。
- 群読によってみんなとのチームワークもよくなるし、他の人のよいところを見つけることができるから群読は本当にすばらしいと思う。これからもみんなで群読したいと思っている。

【『夕焼け』の学習において】

- グループでやることができたので、他の人の意見を参考にしてやることができてよかった。
- 前にやった群読よりも、みんなうまくなったと思う。